



秋田魁新報

媒体資料

SAKIGAKE MEDIA GUIDE



CONTENTS

- 01 会社概要
COMPANY
- 02 発行部数
DATA
- 03 広告料金
PRICE
- 05 主催事業
EVENT
- 06 魁のあゆみ
HISTORY
- 07 関連施設
FACILITIES
- 08 広告主組織
ADVERTISER
- 09 問い合わせ先
INFORMATION

会社概要

COMPANY

いつもの朝に郷土の新聞
秋田魁新報



商号	株式会社 秋田魁(さきがけ)新報社
創刊	明治7年(1874)2月2日
資本金	1億8千万円
本社所在地	秋田県秋田市山王臨海町1番1号
代表者	代表取締役社長 佐川 博之
従業員数	252人(2024年10月1日現在)
事業内容	日刊新聞発行・電子新聞発行・書籍出版・文化・スポーツ事業主催など
事業所	東京・大阪・仙台・大館・横手支社ほか秋田県内に9支局
主要取引銀行	秋田銀行・北都銀行

発行部数

DATA

秋田県内トップの発行部数
最も親しまれている「県紙」です

創刊151年 国内で4番目に古い歴史と伝統

秋田魁新報は明治7年(1874年)の創刊以来、常に郷土秋田の発展と共に歩み、秋田県民に最も親しまれている新聞です。東北で最も歴史のある新聞社で、令和7年には創刊151年を迎えました。発行部数は約18万部、県内の世帯数に対する普及率は約42%です。この数字は、一人一人の読者と強く結ばれ、厚い信頼を受けているからといえます。県内のすみずみまで張り巡らされた取材網を生かし、地域に密着した話題を深く掘り下げるとともに、共同通信社と連携して、国内外のニュースも存分にお伝えします。また、時節の情勢や読者の関心に即した企画特集などを掲載し、最新の情報を読者に届けています。「さがしげ」を毎日読めば、秋田のいま、そして日本や世界の動きが見えてきます。

県内新聞発行部数

180,041部

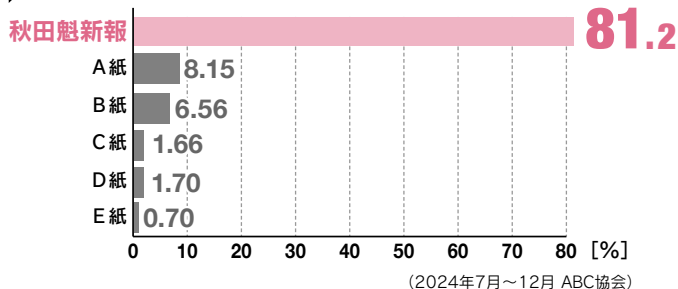
(2024年12月 ABC協会)

秋田県世帯数

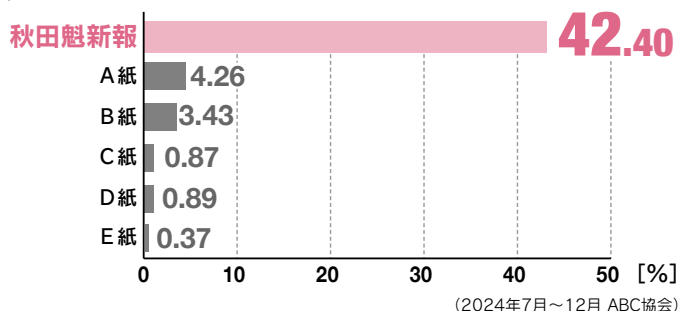
424,568世帯

(2024年1月 ABC協会)

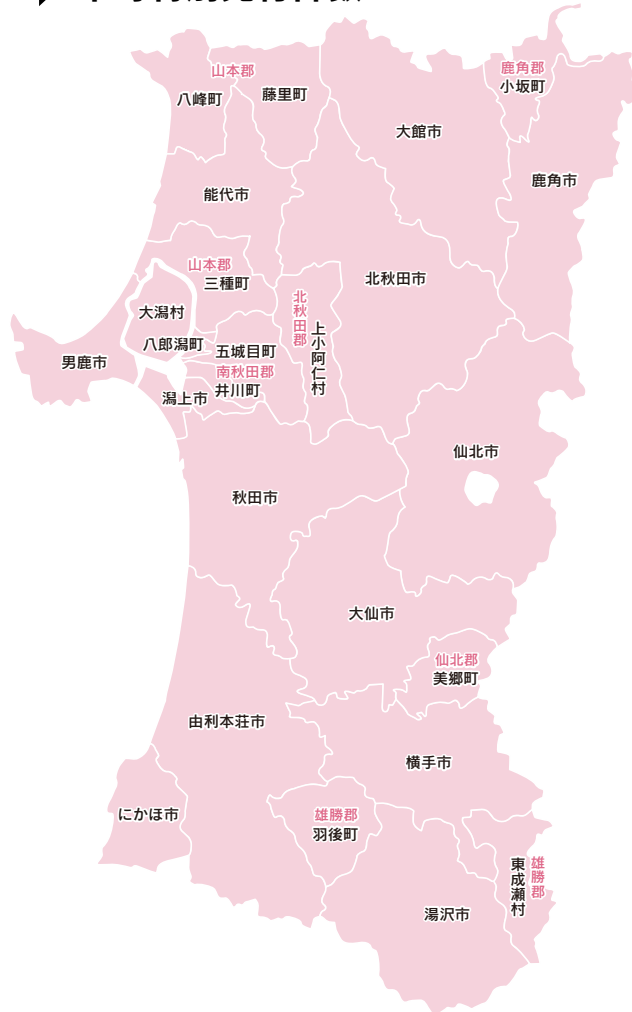
市場占有率(全県)



県内新聞別普及率



市町村別発行部数 (2024年2月)



市町村名	発行部数	市町村名	発行部数
秋田市	62,468部	北秋田市	5,788部
能代市	4,751部	にかほ市	4,854部
横手市	16,589部	仙北市	5,862部
大館市	4,420部	鹿角郡	542部
男鹿市	6,147部	北秋田郡	473部
湯沢市	7,980部	山本郡	4,039部
鹿角市	4,368部	南秋田郡	5,630部
由利本荘市	15,332部	仙北郡	3,799部
にかほ市	4,854部	雄勝郡	3,169部
大仙市	17,052部	合計	180,041部

広告料金

PRICE

2021年4月[改訂]

基本料金

種 別	スペース	料 金
基本料金	営 業	1cm×1段 11,000円
	臨 時	A 1cm×1段 25,300円
		B 1cm×1段 14,300円

[臨時A]

- 1 選挙広告
- 2 官公庁、諸団体の公示広告
- 3 会社・団体の設立、解散、合併、組織または名称の変更などに関する広告
- 4 決算報告、株式募集、株式名義書換停止、株式払込、減資、社債などに関する広告
- 5 登記、商標権、特許権に関する広告
- 6 有価証券などの紛失、無効広告
- 7 リコールなどに関する広告
- 8 求人広告
- 9 自然災害に関連した会社・団体からの広告
- 10 その他、上記事項に準ずる臨時的な広告

[臨時B]

訃報広告、会葬御礼、忌明け、火災広告

色刷り料金

	スペース(種別)	料 金
多色	(題字下)	33,000円
	(題事中)	44,000円
	(2段突き出し)	55,000円
	(3段突き出し)	88,000円
	(テレビはさみ・小)	11,000円
	(テレビはさみ・中)	16,500円
	3段まで	掲載料金の50%(上限220,000円)
	7段まで	330,000円
	15段まで	440,000円
	30段まで	770,000円
単色	3段まで	掲載料金の30%
	7段まで	176,000円
	15段まで	231,000円
	30段まで	385,000円
	特殊インキは20%増	

記事下契約料金

6カ月合算段数	1段当たり料金	6カ月合算段数	1段当たり料金
1段以上	258,500円	45段以上	171,600円
3段以上	243,100円	60段以上	162,800円
5段以上	227,700円	75段以上	155,100円
10段以上	207,350円	90段以上	148,500円
15段以上	198,000円	120段以上	141,900円
20段以上	189,750円	150段以上	135,300円
30段以上	182,050円	180段以上	128,700円

※1段未満は営業基本料金を基準とします。

※契約期間中に掲載の中止または段数増減のあった場合、契約時にさかのぼって契約を変更します。

雑報広告料金

種 別	スペース	区 分	料 金
題字下	3.3cm × 2段		132,000円
題事中	7 cm × 1段	営 業	176,000円
		臨 時	228,800円
突出し	5.25cm × 2段	営 業	234,300円
		臨 時	304,700円
	5.25cm × 3段	営 業	353,100円
		臨 時	457,600円

特殊広告付加料金

特殊スペース	1段以下	掲載料の50%増
	1段を超えるもの	掲載料の30%増
2連版	完全見開き	掲載料の20%増
スプリットラン		掲載料の20%増

その他

[指定料] 掲載面、掲載場所などの指定は掲載料金の20%増し。

[取消料] 掲載日の5日以内につきましては掲載料の30%、3日以内は50%を申し受けます。

SHIP (サキガケ・ホット・インフォメーション・プラザ)

種 別	見出し料金	スペース	料 金
求人広告	550円	1行(15文字)	3,300円
求人	小 枠	タテ4.65cm × ヨコ5.6cm	110,000円
	大 枠	タテ 8.9cm × ヨコ5.6cm	220,000円
営業広告	220円	1行(15文字)	2,200円
個人広告	220円	1行(15文字)	550円

表示の料金には消費税が含まれております。

[カラー写真使用] (サイズ:タテ3.85cm×ヨコ5.6cm)

求人広告、営業広告 ……1点 5,500円
個人広告 ……1点 2,200円

[求人広告]

1回5行以上初回掲載から30日間以内4回以上
……………1行/2,750円

[営業広告]

1回5行以上初回掲載から30日間以内4回以上
……………1行/1,980円

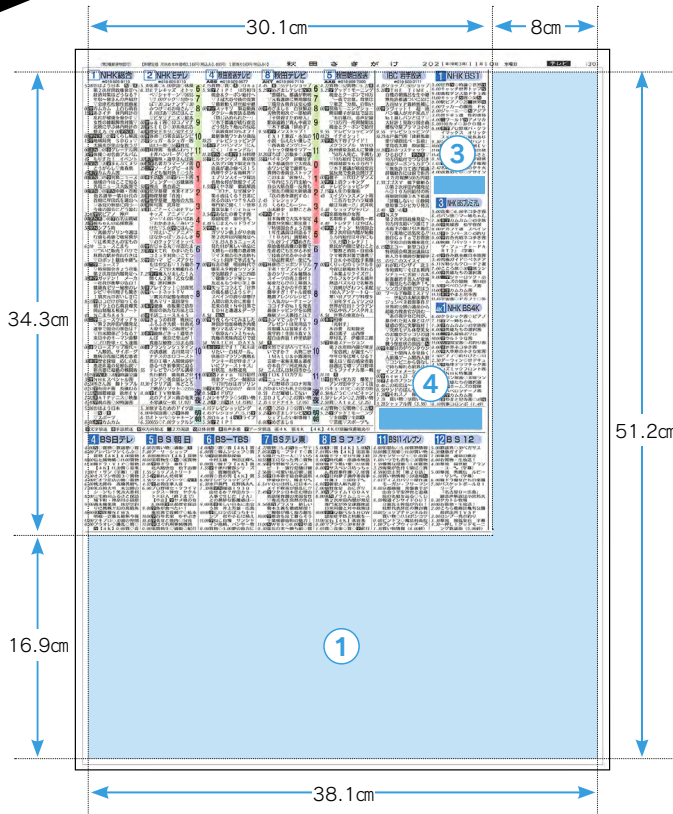
1回10行以上初回掲載から30日間以内4回以上
……………1行/1,760円

広告料金

(テレビ面)

PRICE

表示の料金には消費税が含まれております。



①逆L字型広告

※上記の原稿サイズで制作をお願いいたします。

段単価 × 7段

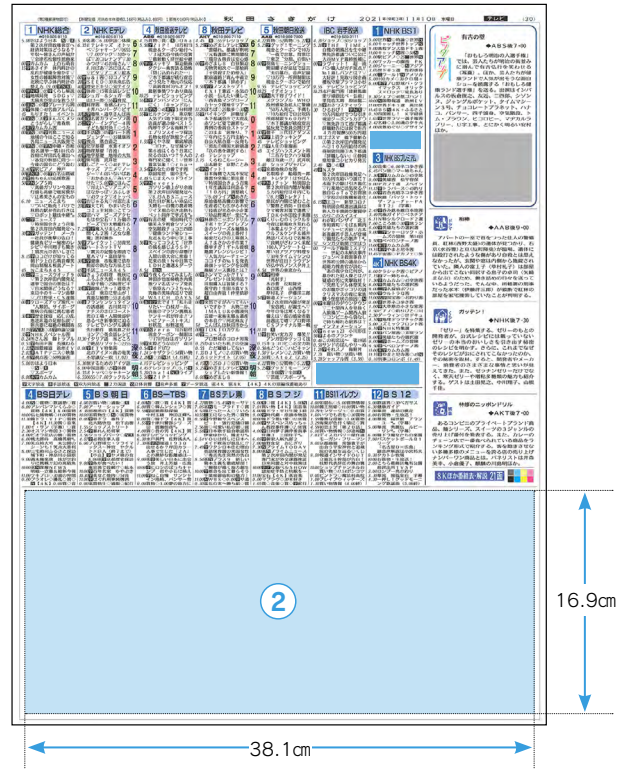
+ 面指定料20%、別途カラー料金330,000円

②5段広告

※上記の原稿サイズで制作をお願いいたします。

段単価 × 5段

+ 面指定料20%、別途カラー料金330,000円



③テレビバサミ小枠

サイズ……タテ1.2cm × ヨコ3.6cm

掲載料金…13,200円 カラー料金…11,000円

④テレビバサミ中枠

サイズ……タテ1.5cm × ヨコ7.5cm

掲載料金…27,500円 カラー料金…16,500円

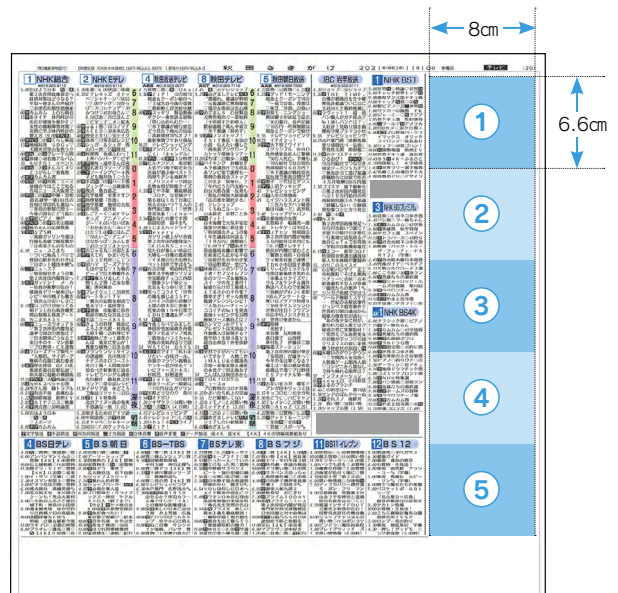
テレビ面特殊スペース 広告料金

基本サイズ……タテ2段(6.6cm) × ヨコ8cm

※特殊スペースは1社のみの掲載。

※同業種掲載の場合は、両者合意のうえ掲載。

	サイズ(タテ×ヨコ)	掲載料金	カラー
①	6.6cm×8.0cm	165,000円	49,500円
①+②	13.4cm×8.0cm	220,000円	66,000円
①+②+③	20.3cm×8.0cm	275,000円	82,500円
①+②+③+④	27.2cm×8.0cm	330,000円	99,000円
①+②+③+④+⑤	34.0cm×8.0cm	385,000円	115,500円



主催事業

EVENT

スポーツ、文化など多彩な分野で 事業を展開しています



魁星旗争奪全国高校選抜剣道大会

- さきがけ・ドーム杯 グラウンドゴルフ大会
- 魁星旗争奪全国高校選抜剣道大会
- あきたキッズプログラミングアワード

- 秋田BLC発表会
- 全県しろうと本因坊戦
- 春の院展秋田展



全県500歳野球大会



田沢湖マラソン

- 著名大学進学説明会
- 東北6県将棋大会
- 全国500歳野球大会
- 全県少年野球大会

- 魁星旗争奪全県550歳野球大会
- 十和田八幡平駅伝競走全国大会
- 魁星旗争奪社会人野球大会

- 大学・短期大学・専門学校進学相談会
- 高校生のための文化講演会
- 全県女子ロードレース大会
- 魁杯争奪県グラウンドゴルフ大会
- 全県団体対抗囲碁大会
- 大仙市健康ウォーク
- 全県500歳野球大会
- 田沢湖マラソン
- 全県駅伝 県中学校総合体育大会駅伝競走大会
- 県小学生駅伝競走大会
- 全県おはよう野球大会

1月

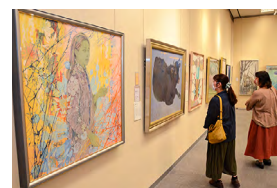
- 魁星旗争奪少年フットサル大会
- 全県選抜囲碁大会
- 県新春書初め大会展覧会

2月

- 全県選抜将棋大会



全県将棋大会



春の院展秋田展

3月

4月

- 全県高校将棋大会
- 春季東北地区高等学校野球県大会
- 全県将棋大会
- 全県短歌大会
- 少年少女囲碁県大会
- 魁星旗争奪少年サッカー大会

5月

6月

- 魁杯県ボウリング選手権大会
- 河辺せせらぎウォーキング
- 県250歳ゴルフ大会
- 男鹿駅伝競走大会
- 全日本学童軟式野球大会県大会
- 秋田県美術展覧会
- 東北6県囲碁大会

7月

8月



秋田大学医療フォーラム

9月

10月

- 田沢湖ツデーマーチ
- 全県レディースバレー大会
- 全県団体対抗将棋大会
- 魁星旗争奪県ボウリング大会
- 全県俳句大会
- 秋田書道展覧会
- 歴史検定

11月

12月

- さきがけ文学賞授賞式
- 魁星旗争奪県中学校秋季軟式野球大会
- 秋田活性化中学生選手権
- 秋田大学医療フォーラム
- 新聞きりぬぎコンクール表彰式・入賞作品展
- 後期・ニュース検定

魁のあゆみ

HISTORY

魁のあゆみ

明治

7年2月2日(1874)	秋田魁新報の前身である遐邇(かじ)新聞創刊。この日を創刊記念日とする。
10年1月4日(1877)	遐邇新聞が日刊となる。
11年9月4日(1878)	秋田遐邇新聞と改題。
15年1月26日(1882)	秋田日報と改題。主幹大久保鉄作。
16年4月29日(1883)	主筆に木堂・犬養毅を迎える。
17年8月19日(1884)	秋田青森函館新報と改め青森県で発行。
20年9月2日(1887)	秋田新報と改め秋田市で発行。
22年2月15日(1889)	秋田魁新報と改題。
26年11月12日(1893)	社屋が秋田市大町1丁目から大町2丁目の本間金之助宅跡に。
38年8月20日(1905)	秋田市大町1丁目に社屋を新築。
42年9月24日(1909)	題号に梅花文様を入れる。

大正

8年4月12日(1919)	東京・帝国ホテルで秋田魁新報創刊30年記念式典。
同年5月6日	1万号発行祝典
14年9月1日(1925)	地方部を創設。県内6カ所に通信部を置く。
同年9月7日	東京出張所(東京支社の前身)を開設。
同年9月26日	夕刊発行。2ページ。

昭和

6年7月15日(1931)	秋田市大町に新社屋完成。
12年3月19日(1937)	仙台通信部を新設。
13年5月1日(1938)	大阪出張所開設。
17年5月31日(1942)	戦時新聞統制の1県1紙策で県内他紙が廃止され、秋田魁新報だけとなる。
20年4月1日(1945)	地方紙と東京紙の併題となり、10月15日まで続く。
同年11月10日	「月刊さきがけ」創刊(終刊25年5月号)。
24年5月7日(1949)	「秋田スポーツ」創刊(1部5円、旬刊。終刊25年2月27日第30号)。

25年8月1日(1950)	「夕刊秋田」を合併し「夕刊秋田魁」を発行。
43年10月15日(1968)	連載企画「吹っ飛ばせ県民病」が新聞協会賞受賞。
49年2月2日(1974)	創刊100年。
同年6月14日	3万号を発行。
同年10月15日	連載企画「豊かさの条件」が新聞協会賞受賞。

平成

6年10月24日(1994)	秋田市山王臨海町の現社屋で業務開始。
8年4月1日(1996)	「さきがけスポーツ」を創刊。土曜日の夕刊を廃止。
15年10月31日(2003)	夕刊を刷新、横題字をカラーに。
17年9月23日(2005)	東京支社が日本プレスセンタービル(千代田区内幸町)に移転。
19年4月1日(2007)	秋田市御所野にさきがけ印刷センター完成。
同年6月8日	キャラクターを制作。愛称は「ヨムトン」「ミール」「シルル」に。
20年10月1日(2008)	朝夕刊を統合。56年余り続いたセット販売に終止符。
23年3月11日(2011)	東日本大震災。本社屋と印刷センターは自家発電で新聞製作。
同年4月7日	東日本大震災の余震で停電。自家発電で朝刊製作後、緊急事態相互援助協定を結ぶ岩手日報社の朝刊(8ページ、20万部)を印刷。協定締結後、初の発動。
同年5月16日	デジタルサイネージ放映始まる。
26年4月1日(2014)	「秋田魁新報電子版」サービス開始。
同年7月2日	創刊140年を記念する「さきがけ創刊記念章」顕彰式と記念祝賀会を秋田市で開催。
27年10月20日(2015)	「元気で届ける新聞。」が新聞広告賞受賞。
28年7月23日(2016)	紙齢4万5千号に到達。特集号を発行し、「未来へのメッセージ」を読者から募集。
30年10月19日(2018)	「秋田犬新報」が新聞広告賞、「#秋田の問題」が奨励賞受賞。

令和

元年10月16日(2019)	「イージス・アショア配備問題を巡る『適地調査、データずさん』のスクープなど一連の報道」が新聞協会賞を受賞。
6年2月2日(2024)	創刊150年。

関連施設

FACILITIES

県民・読者が集う
多様な施設を運営しています

さがけホール



秋田魁新報創刊140年記念事業として、新聞印刷工場跡を改修し「さがけホール」を開設しました。多目的ホールは、講演会、音楽会、映画上映会など、利用目的によりいろいろな使い方が可能です。ほかに、絵画・書道・写真などの展示ホールがあります。また、小講演会、講座、学習会など各種会議のできるセミナールームを備え、読者・県民の芸術文化向上のお手伝いをいたします。

秋田市山王臨海町1-1(秋田魁新報社1階) TEL.018-888-1929
営業時間10:00～17:00(月曜・年末年始は休み)



さがけハウジングパーク

さがけハウジングパーク(SHP)は、平成9年8月28日のオープン以来、県内最大の総合住宅展示場としてご活用いただいております。秋田市の駅東地区と県南地方や県北地方を結ぶ幹線道路「横山金足線」に面した場所で、アクセスもよく、近年市内でもっとも市街化、宅地化が進んでいる地区です。

秋田魁新報社ではSHPのPR促進のため、新聞広告、フリーペーパーマリマリ、テレビCM、SNSなどのツールを使い来場者増を図るとともに、お客様に満足いただけるイベントも多数実施しております。

秋田市横森3丁目11-7 TEL.018-884-5130
営業時間 月～金10:00～17:00 土日祝10:00～18:00



さがけNewsCafe

さがけNewsCafe(ニュースカフェ)は、コーヒーを味わいながら、ゆつくりと新聞をお読みいただけるスペースです。ぜひお気軽にお立ち寄りください。秋田魁新報社の主催事業を中心とした芸術・スポーツなどのチケット販売、過去の新聞記事を検索できるデータベース(有料)の提供などもございます。

秋田市中通1丁目4-3(エリアなかいち商業棟1階)
TEL.018-874-8171 営業時間10:00～19:00(12/31～1/2は休み)

会員相互の親睦を図りながら 秋田の発展に貢献

秋田BLC (ベター・リビング・サークル)



秋田BLCは、昭和39(1964)年に発足した女性サークルです。豊かな心で生き生きと暮らしたいと願う女性を応援し、幅広い教養や最新の商品・サービスを学ぶ場として、これまで57期6,000人余の卒業生を輩出してきました。月1回の例会は2部制。前半は各界の専門家による講義や実技、後半は住まい、エネルギー、健康、美容、保険、相続など、暮らしに深く関わる事柄を学びます。

「卒業後も学び続けたい」「友だちとつながり続けたい」という声から生まれた「秋田BLC卒業生の会」では、講演・実技・旅行等を企画。生涯を通じた学びの場として、会員同士の交流の場として活用されています。企業からの依頼に応じてセミナーやグループインタビュー、サンプリング、コラボ商品開発等も承ります。

秋田BLCホームページ

<https://www.sakigake.jp/blc/>



秋田ランチ会

県外に本拠を置く企業の県内拠点(支社、支店など)で組織する「秋田ランチ会」は平成18(2006)年に設立され、さまざまな活動を繰り広げています。全国的あるいは国際的に営業展開している各企業がこの秋田の地で業種の垣根を超えて連携し、秋田の良さを広く深く理解するとともに、秋田をまるごと楽しみながら、各社が持つネットワークに「秋田情報」を乗せて発信していこうというのが設立の狙いです。そうした活動を、県内一豊富な情報集積を備えた秋田魁新報社がサポートします。人口減少、高齢化が著しい本県ですが、外部からの視点を大切にしながら、秋田の将来を考え、元気のある秋田づくりに貢献できるよう努めたいと考えています。



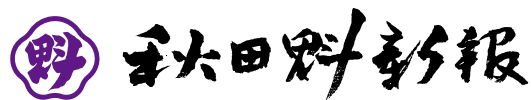
秋田さがけ友の会

秋田さがけ友の会は秋田魁新報に広告を掲載している広告主による組織です。創立は昭和28年(1953年)で、60年を超える歴史を刻んでいます。当初の会員は41社でしたが、現在は210社を超える規模に拡大しました。

毎年「広告セミナー」などを開催し、新聞広告への理解を深めてもらう活動を展開しております。秋田さがけ友の会は、異業種交流の場としても機能しています。親睦はもちろんのこと、他業種の情報収集にはうってつけであり、時にはここで生まれた企業間の関係がビジネスチャンスに発展することもあります。

秋田さがけ友の会はこれからも秋田魁新報社と手を携え、本県経済の発展に貢献できるよう努力いたします。





東京支社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル6階
TEL.03-5511-8261 FAX.03-5511-8264

仙台支社

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-4-33
仙台定禅寺ビル6階
TEL.022-266-0121 FAX.022-266-0123

横手支社

〒013-0060 横手市条里1-17-3
TEL.0182-32-2345 FAX.0182-33-3059

鷹巣支局

〒018-3331 北秋田市鷹巣字北中家下83
TEL.0186-62-1239 FAX.0186-62-1229

男鹿支局

〒010-0511 男鹿市船川港船川字外ヶ沢126-10
TEL.0185-23-2303 FAX.0185-23-2880

本荘支局

〒015-0802 由利本荘市表尾崎町4-4
TEL.0184-24-3122 FAX.0184-24-3124

角館支局

〒014-0354 仙北市角館町水ノ目沢10-12
TEL.0187-54-2345 FAX.0187-54-1445

大阪支社

〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目6-8
堂島ビル728号
TEL.06-6363-2328 FAX.06-6315-6157

大館支社

〒017-0841 大館市字大町50
TKマンション大町101
TEL.0186-49-1231 FAX.0186-49-3294

鹿角支局

〒018-5201 鹿角市花輪字上中島64
TEL.0186-22-1234 FAX.0186-22-1236

能代支局

〒016-0844 能代市花園町6-23 カインドビル1F
TEL.0185-54-1550 FAX.0185-54-1560

南秋田支局

〒010-8601 秋田市山王臨海町1-1(本社内)
TEL.018-888-1840 FAX.018-823-2080

大曲支局

〒014-0053 大仙市大曲花園町2-41
TEL.0187-63-0163 FAX.0187-63-0056

湯沢支局

〒012-0824 湯沢市佐竹町8-8
TEL.0183-73-2187 FAX.0183-73-3866

お問い合わせ

秋田魁新報社 営業局 営業部

TEL.018-888-1862 FAX.018-863-1681
E-MAIL/kokoku@sakigake.jp

<https://www.sakigake.jp>